

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きや所管国の状況などを
短くまとめて紹介します



ロンドン事務所

「JAPAN MATSURI 2024」に参加しました！

2024年10月6日、英国ロンドンの観光名所として広く知られるトラファルガー広場において、英国最大級の日本文化 PR イベント「JAPAN MATSURI 2024（ジャパン・マツリ 2024）」が開催されました。

英国と日本の強い絆を象徴するものとして生み出されたこのイベントは、今回で第14回目を迎え、当日は英国らしい曇りのち小雨というあいにくの天気でしたが、一時入場制限が行われるほどたくさんの来場者でにぎわいました。設けられたステージでは、武芸や和楽器のパフォーマンスなどが披露され、来場者からはたくさんの拍手と歓声が送られていました。また、ステージ周辺にはフードゾーンが設けられ、焼きそばや牛丼、抹茶菓子などの日本食を販売する屋台が並び、会場は食欲をそそる匂いにあふれ、大行列ができていました。

クレアロンドン事務所もブース出展でイベントに参加し、各自治体のポスターの掲示やパンフレットの配布、観光プロモーション動画の放映などによる日本各地の魅力の PR を実施しました。来場者からは「日本に行くと花見や登山を楽しみたい」「日本語を勉強しにぜひ日本に行きたい」といった声が聞かれ、職員の話に熱心に耳を傾けたり、パンフレットで観光地を吟味する姿が見られました。また、ボランティアとして元 JET 参加者の方にも協力いただき、JET プログラムに興味のある方などに対しての情報提供も行いました。

このようなさまざまな機会を生かし、引き続き日本および各自治体の魅力発信に努めてまいります。



クレアロンドン事務所のブースの様子



会場の様子



シドニー事務所

「オーストラリアン・サケフェスティバル 2024」で初出展の青森県の活動を支援

2024年9月28日と29日の2日間、オーストラリア・シドニーで「オーストラリアン・サケフェスティバル 2024」が開催されました。3回目の開催となる今回は、約8,000人の来場者を迎え、日本酒や焼酎、果実酒、日本産食品の試飲・試食や商談に加え、来場者向けの販売も行われるなど、会場は終始活気にあふれていました。クレアシドニー事務所は、初出展となる青森県からの依頼を受け、数種類の日本酒の試飲をはじめ、同県産のお米2種類とホタテの試食を提供するブースで、同県職員とともに日本酒の香りや味、お米の品種ごとの個性について英語で丁寧に説明しました。

ブースでは、多くの来場者が青森の味わいを楽しんでいました。また、説明や試飲・試食を通じて、日本酒の甘口・辛口の風味や米の食感の違いについて感想をいただき、繊細な違いにまで関心を寄せる姿が見られました。このような場面からも日本食が現地で広く浸透していることを改めて実感しました。

さらに、2日目の午前中には一般入場者を制限し、現地の事業者や飲食店を対象とした商談会も開催され、各ブースでは商品の魅力を伝えるための説明が行われ、熱心に質問を投げかける姿も多く見られました。青森県産品にも多くの関心が寄せられ、現地での新たな取引先の拡大を視野に入れた活発な交流が続きました。

クレアシドニー事務所は、今後も日本の自治体による豪州での地場産品プロモーション活動を支援し、日本の地域の魅力を伝える取り組みに力を入れていきます。



活気を見せるイベント会場の様子



多くの来場者で賑わう青森県ブースの様子



北京事務所

「青島ジャパンデイ」が開催されました

2024年10月26日から27日の2日間、イオンモール青島西海岸新区店において「青島ジャパンデイ」が開催され、2日間で延べ9万人の来場者で賑わいました。本イベントは、日本文化・商品の体験や訪日観光旅行の促進、青島在住の日中市民交流の場の創造などを目的としており、今回が12回目の開催となりました。

クレア北京事務所は、宮崎県からの支援依頼を受け、メイン会場で観光パンフレットやノベルティ配布を行い、観光PRを実施しました。なかでも、地元青島市（チンタオ市）と同じ漢字で表記する宮崎県宮崎市にある「青島（あおしま）」オリジナルスタンプ押印コーナーが人気でした。

ステージでは、和太鼓や華道など日本の伝統文化が披露されたほか、別会場では日本酒のレクチャー、巻き寿司体験イベントなどが実施され大盛況となっていました。来場者からは「日本に行ったことがある。是非また行きたい」「日本語を勉強中であり、いつか日本を訪れたい」などの声が寄せられるなど、中国・青島における日本への関心の高さがうかがえました。



宮崎県ブース



青島（宮崎県宮崎市）のオリジナルスタンプ



ニューヨーク事務所

長野県とJETプログラム関係者の意見交換会がニューヨークで開催されました

2024年10月29日、クレアニューヨーク事務所において、長野県知事とJETプログラム関係者との意見交換会が開催されました。本事務所は、ニューヨーク近郊に在住する長野県のJET経験者への参加募集や会場準備などの支援を行いました。

当日は、長野県JET経験者を含むJET関係者4人が現地で参加し、さらに現役JET参加者6人がオンラインで参加しました。意見交換会では、長野県独自のJETネットワーク「Naga Net（ナガネット）」の設立趣旨や今後の展望について、阿部守一県知事がメッセージを発信しました。また、JET関係者からは、ネットワークのさらなる拡大・強化に向けた積極的な提案がなされ、Naga Netのロゴや写真コンテストの結果も紹介されるなど、県、JET経験者、現役JET参加者という三者間の連携における先駆事例として期待が寄せられます。



参加者に想いを伝える阿部知事



意見交換会の様子



シンガポール事務所

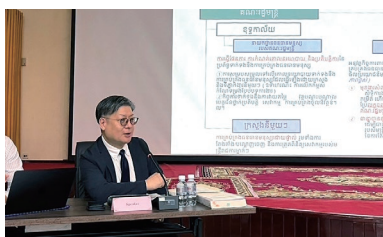
カンボジアの行政改革と公務員の人材育成のため

2024年10月7日、行政改革と公務員の人材育成に関するセミナーの実施のため、総務省自治行政局公務員課 越尾課長に講師を務めていただきました。

昨年、38年ぶりに首相が交代し新政権が発足したカンボジアでは、公務員改革を1つの目玉として取り組んでおり、公務員改革に向けたさまざまなセミナーが実施されています。今回は、その一環として、日本で実施された国の行政改革や公務員の人事管理や人材育成における事例を学びたいとの依頼を受け、本セミナーを実施しました。

セミナーでは、日本で実施された中央省庁の再編や公務員制度改革といったテーマを扱い、参加したカンボジア公務員省の職員約130人は、熱心に講義を受けていました。質疑応答では「カンボジアでも省庁統合を行おうとした際には反対意見があったが、日本では反対意見があった際にはどのように解決したか」といった具体的な質問もあり、関心の高さをうかがい知ることができました。

今後、カンボジア政府において行政改革が円滑に実施され、公務員の人材育成に寄与するとともに、今後の両国の良好な関係の構築の増進につながることが期待されます。



セミナーの様子（総務省自治行政局公務員課 越尾課長）



セミナー全体の様子



パリ事務所

企画展「第12回『伝統と先端と』～日本の地方の底力～」ディジョン展を開催しました

2024年10月31日から11月3日にかけて、仏ディジョン市で企画展「『伝統と先端と』～日本の地方の底力～」を開催しました。本企画展は、日本の地方に根付いた伝統産業技術に着目し、現代の生活にモダンに取り入れられている製品を展示販売するもので、今回で12回目となります。今回は例年開催しているパリのほかに、ディジョンでも実施しました。ディジョンでは、会場となった「ディジョン国際ガストロノミー（美食）展」にちなみ、食に関連する製品約100点を出品しました。来場者数、売れ行き、ともに上々で、日本製品として人気の高い包丁など、売り切れの商品も出ました。

これまで本企画展では、日本関連のイベントや施設で出展することが多かったのですが、今回は初めて食品見本市での出展となり、必ずしも「日本」を目当てに来られたわけではない来場者が、たまたま目にした商品を購入していただいたことに手ごたえを感じました。

商品を購入した人の感想や購入に至らなかった人の感想などは、出展自治体や出展者に今後フィードバックされます。地方自治体の事業としてフランスでのテストマーケティングを検討される際には、是非、活用をご検討ください。



ディジョンでの展示の様子



ソウル事務所

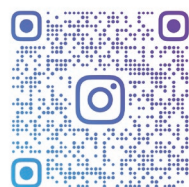
クレアソウル事務所「도란도란 (トランドラン)」を紹介します！

クレアソウル事務所は韓国での情報発信としてSNSを活用した広報に力を入れています。そのひとつ도란도란 (トランドラン) は日本の自治体のみなさまからお寄せいただいた魅力的な情報や、ソウル事務所職員が作成した派遣元や日本についての記事を発信しています。

「도란도란 (トランドラン)」は韓国語で「小さい声で仲良く話す様子」を意味しており、「見てくれた方だけにこっそり日本の地域の魅力を伝えます」という思いが込められています。

そんな、こっそりと始めたトランドランですが、今では韓国内外4,000人を超える方にフォローしていただきました。ありがとうございます。

韓国の方のみならず日本のみなさま、自治体のみなさまからのフォローや「いいね！」お待ちしております！また、2025年度も自治体の魅力発信記事を募集する予定です。日本の自治体のみなさまからのご応募お待ちしております。



DORANDORAN_CLAIRESEOUL

トランドラン二次元コード

(@dorandoran_claieseoul)



「おすすめグルメ紹介」企画より



経済交流課

2024年度日本ふるさと名産食品展 in ロサンゼルス&ニューヨークを開催しました！

クレアでは、海外へ進出しようとする地域の事業者支援を行う自治体のために、地域産品のテストマーケティングと販路開拓を目的とした食品展（物産関係支援事業）を実施しています。

2024年度は、世界中から人が集まる情報の発信地であり、健康意識の高まりにより日本食が注目されている米国・ロサンゼルスおよびニューヨークにおいて、全米最大級の日系食品物産展「ジャパニーズ・フード・エキスポ」の中で開催しました。

2024年11月2日に「ロウズハリウッドホテル」で開催したロサンゼルス会場には8自治体から10事業者、11月8日から10日の3日間にわたり大型日系商業施設「ジャパニビレッジ」で開催したニューヨーク会場には7自治体から10事業者が出展し、両会場はともに、目新しい日本の食品を求めて訪ねてきた来場者で終日賑わい、催事は大盛況のうちに終了しました。

クレアでは、今後も海外展開を試みる自治体のために、充実した内容の物産関連イベントを企画します！

※事業の詳細はホームページをご覧ください。 <https://economy.clair.or.jp/activity/exhibition/>

■お問い合わせ 経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



ロサンゼルス会場での鏡開きの様子



大勢の来場者で賑わうニューヨーク会場の様子

JET プログラム事業部

JET 参加者および経験者向けに
キャリアビジョン研修を開催しました！

2024年11月16日、17日に、「JET プログラムキャリアビジョン研修」をオンラインで開催し、2日間で918人の方に参加登録していただきました。本研修では、10の異なる業界（教育、観光・旅行、翻訳・通訳、進学など）で活躍する国内外のJET プログラム経験者をパネリストに迎え、各業界の状況や進路決定までの道のり、心構えなどについて、パネルディスカッション形式でお話を伺いました。また、総務省の方に地域おこし協力隊の活動について紹介いただきました。各パネルディスカッション終了後に行ったパネリストと参加者が交流できるオンラインネットワーキングでは、活発な意見交換がなされていました。

さらに、研修の最後には、日本での就職を希望するJET参加者および経験者たち向けに、「日本式就職活動の基礎ウェビナー」を行いました。このウェビナーを通して、履歴書の書き方、面接時のマナーなど日本での就職活動に役立つ具体的な知識や情報を学びました。

今回の研修が、JET プログラム終了後のキャリアをより明確に思い描き、充実した生活を送るための一助となることを願っています。また、今回国内外から参加していただいたパネリストの皆様はこの場を借りて感謝申し上げます。

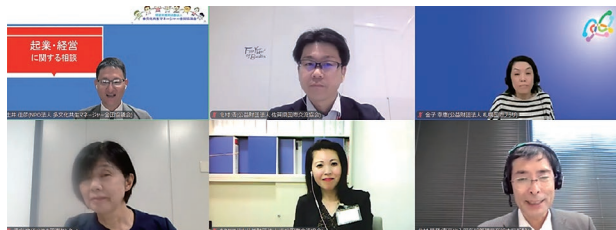
「クリエイティブな職種」のパネル
ディスカッションの様子

市民国際プラザ

2024 年度多文化共生の担い手連携促進研修会
第一部を開催しました

2024年10月31日に多文化共生の担い手連携促進研修会第一部「在留資格に係る相談事例～R6年度改正入管法を踏まえて～」を開催し、全国の自治体、国際交流協会、NGO、NPO 職員など約540人にご参加いただきました。東京出入国在留管理局から「育成就労制度」と「永住資格の取り消し」に関する講義、後半のディスカッションでは土井佳彦氏をモデレーターに、参加者からの事前質問をベースとして、札幌国際プラザ、とやま国際センター、浜松国際交流協会、佐賀県国際交流協会で実際に相談業務に従事しているパネリストに、相談事例やその対応方法を共有いただきました。参加者からは「改正入管法についてメディアではなく、所轄官庁から直接最新情報を聞くことができて理解が深まった」「日々問題に直面し、解決にむけて尽力されている方々の事例が圧巻だった」などの声が聞かれ、有意義な研修会となりました。後日報告書もウェブサイトに掲載します。

<http://www.plaza-clair.jp/>



研修会の様子

交流親善課

日米間の姉妹都市交流について

日本と米国は現在、464の姉妹都市提携を結んでおり、これらの交流が両国の友好と理解を深める重要な役割を果たしています。姉妹都市提携は、地域間の結びつきを強化し、文化、教育、産業、観光といった幅広い分野での協力を可能にし、両国の地域社会の発展に寄与しています。

また、日米両政府は、コロナ禍で落ち込んだ双方向の観光交流の回復・拡大を目的として、2024年1月から2025年3月までを「日米観光交流年」として定め、観光分野をはじめとするさまざまな交流をさらに推進する取り組みを進めています。この一環として、当協会では米国との姉妹都市提携における先進的な事例を紹介するオンラインセミナーを開催いたしました。今後もこのような活動を通じて、日米両国の絆を一層強固にし、姉妹都市提携のさらなる発展に貢献してまいります。

そのほか、「日米観光交流年」の取り組みについては、観光庁のホームページをご覧ください。



多文化共生課

「ぼうさいこくたい 2024 in 熊本」に出展しました！

多文化共生部では、激甚化する地震や水害などの自然災害に備えて、災害時の情報伝達・コミュニケーションに役立つツールの作成や研修事業などを進めています。これらの取り組みを多くの方に知っていただくため、2024年10月19日、20日に「ぼうさいこくたい 2024」へブース出展しました。

ぼうさいこくたい（正式名称「防災推進国民大会」）は、さまざまな団体や機関が日頃から行っている防災活動を発表し、交流する日本最大級の防災イベントです。2024年度は「復興への希望を、熊本から全国へ～伝えるばい熊本！ がんばるばい日本！～」をテーマに熊本県熊本市で開催され、2日間合わせて約1万7,000人が来場しました。

ブースでは、ピクトグラムや多言語表示シート、多言語版在住外国人向け防災行動計画検討ツールなど、災害時や事前準備に使えるツールを中心に紹介し、日頃あまり接点のない団体や企業、一般の方にも広く取り組みを周知することができました。

今後も、各地域で展開される多文化共生を推進するとともに、防災対策などの取り組みに資するツールを提供してまいります。

ブースで来場者に説明する
様子